

戦後80年・きみつを平和でつなぐ 「第二次世界大戦下の君津」

【内容・ねらい】  
戦後80年の節目にちなみ、市内8つの公民館の連携事業の1つとして、戦争・平和をテーマにした事業に取り組んだ。各8公民館と生涯学習文化課が長年に渡り積み重ねた記録一地域から集めた資料や証言・事業参加者の作文集等—をもとに、「第二次世界大戦下の君津」と題し、平和で君津がつながるよう、市内8公民館と君津市民文化ホールを会場に巡回展示を行った。また、展示内容や様子は記録集にまとめ、市内公民館や県立図書館等に寄贈した。

- 【展示内容】※松本ピアノに関することは資料館とも連携
- ①「戦争の歴史と記憶遺産」…戦時下の市内での出来事や、貴重な証言を紹介
  - ②「軍事工場としての君津」…松本ピアノの工場が軍需工場となった時の様子や作業従事者の証言を紹介
  - ③「疎開先としての君津-集団学童疎開-」…戦時下、現在の東京都墨田区から集団疎開した児童の疎開先での生活や当時の記憶証言を紹介

- 【関連事業】
- 展示内容に関連した講演会等の取組も展開・共有された
  - ・R7.11/ 1小櫃地区文化祭(独自展示+ロビートーク「平和を考える」)
  - ・R7.11/ 3君津中央公民館文化祭特別企画「ジモトピースフェス」
  - ・R7.12/10(水)小糸公民館主催 令和7年度教育講演会  
「戦後80年 平和のために私たちができること-小糸周辺の戦時記憶-」
  - ・R7.12/21(日)八重原公民館・周南公民館共催 講演&音楽鑑賞  
「松本ピアノと戦争-ピアノ工場が軍需工場となった日-」  
※展示12/8(月)~1/18(日) 監修:久留里城址資料館
  - ・R7.12/6(土)市民団体主催「Peace Forever Festa 2025 in君津」

- 【成果と課題】
- (よかった点)
- ・戦後80年の社会的節目をテーマにすることで、公民館事業が社会や時代と接点を持つ学習活動として展開し、市民が現代社会を考える契機を提供できた。
  - ・事業を通して、君津市公民館の取組みを全市に示した。
  - ・各館保管の資料を集めた事で、区域を越え資源共有できた。
- (今後の課題)
- ・時事課題への対応や学習支援のノウハウを、組織として蓄積していく必要性が明らかになった。



※全76頁、記録証言文書データCD付

